

# CC12 キャンプの達人

キャンプを楽しむために…

キャンプの服装

テントと付属品

テントの各名称

へっついの使い方

火の扱い

荷物のつめ方

もしもの時…応急対応

雷から身を守る

いろいろな合図

B-Pのことば

## キャンプを楽しむために…

キャンプが楽しくなるように、次の技術ができるようにしましょう。

- ◇ テントの張り方、たたみ方ができる
- ◇ 火のおこし方、火の始末ができる。
- ◇ 飯ごうでごはんが炊ける
- ◇ 炊事と食器洗いができる。
- ◇ キャンプクラフトができる。
- ◇ リュックのつめ方、背負い方を知っている。
- ◇ ロープ結びができる。
- ◇ 刃物、工具の使い方を知っている。
- ◇ 救急法や安全のそなえができる。
- ◇ 手や笛の合図をしっている。
- ◇ 旗の扱いを知っている。

できるようになったら◇に色をぬりましょう。

## CC12の開会・閉会式の服装

ハット、GSポロシャツ、ラップキュロット  
GS長ズボン(又は紺色長ズボン)  
靴下(キュロットの場合は紺のハイソックス)  
運動靴(歩いて滑りにくい靴をえらびましょう。)

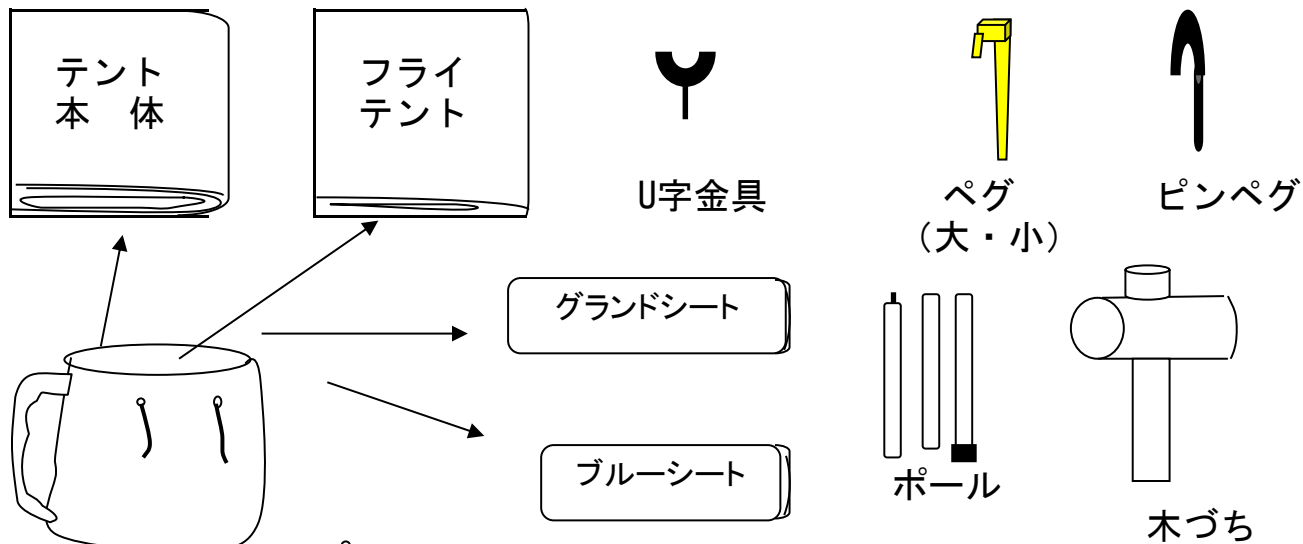
以上を組み合わせて着用する。

旧キャンプユニフォームとの組み合わせも可能です。

※作業をする時は、長そで・長ズボンを着用しましょう。

# テントの資材

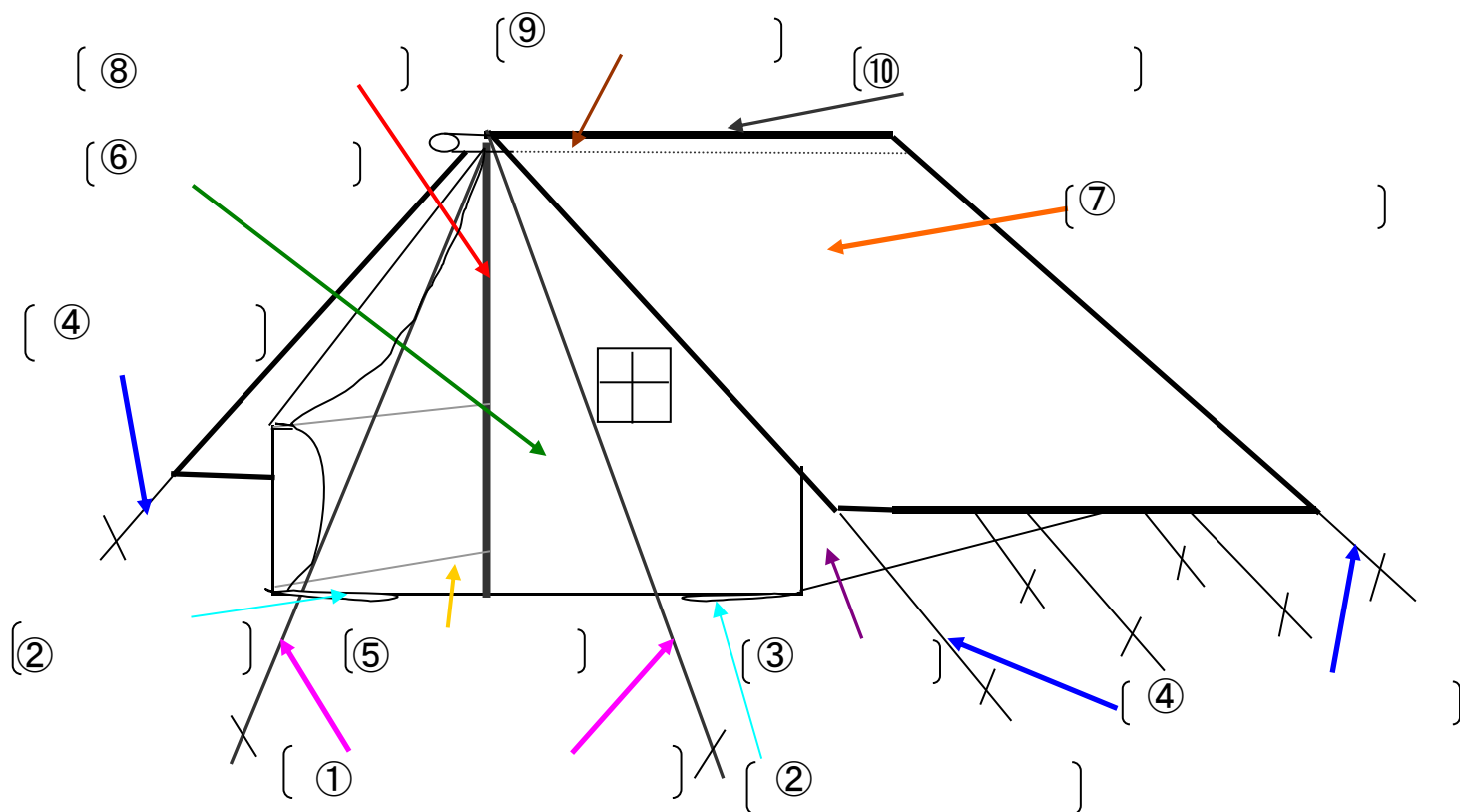
テントの部品を覚えましょう。



借りたものは必ず物と数をかぞえる。  
使い終わったら、きれいにして、数をまちがえずに返す。

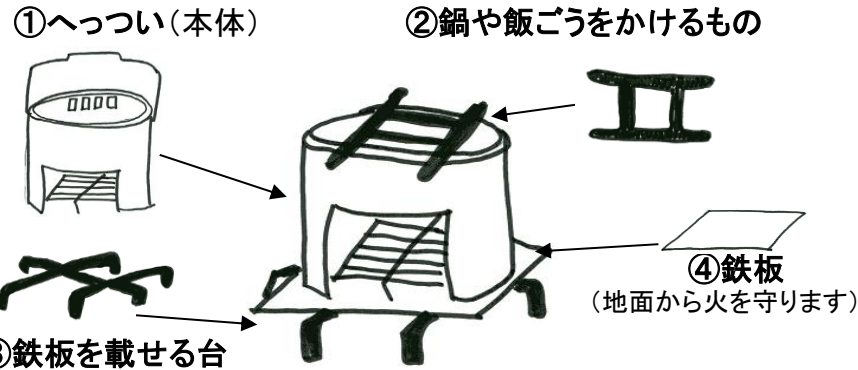
# テントの各名称

①から⑩に名称を入れてみましょう。



# へっついの使い方

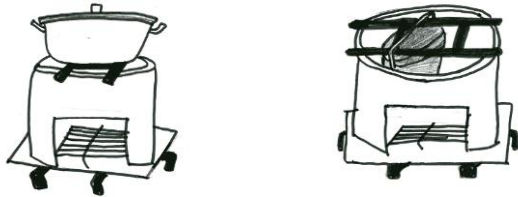
「へっつい」とは、かまどのことです。  
戸隠ガールスカウトセンターでは、地面で直火(じかひ)を  
たかないようにしています。



4つを組み合わせて使います。  
安定したところに、おくこと。  
上にのせた熱い鍋などが落ちないように注意すること。

## <使い方例>

なべや飯ごうは、  
へっついの上にのせたり、かけたりして使うことができます。



なべを火にかける前に、本体外側にクリーム状に  
溶いたクレンザーか、  
赤土などをぬっておくと、  
洗う時に楽にススが落ちる。

※ふたには、ぬらない ×

※飯ごうは、クレンザーなどをつけなくても、



# 火の扱い

服装:長そで、長ズボン、ハット

用意するもの:軍手\*(木綿のもの)、マッチ、薪、なた、新聞紙

\*軍手は必ずかわいたものを使うこと

しめった軍手を使うとやけどをします。

あると便利:火バサミ、牛乳パック、うちわ

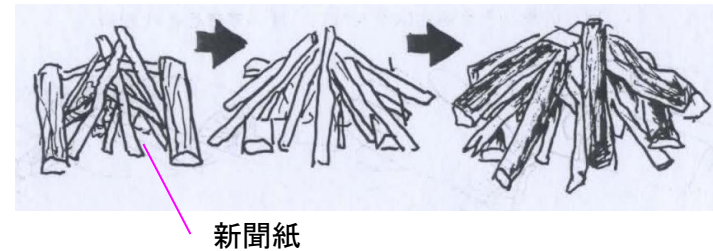
## 薪の組み方

焚きつけは1cmに割った細い薪を10本ぐらい。予備も用意する。

着火材(新聞紙)を中心に三角すいを組む

空気が流れるように、すき間を開けて並べる。

さらにその上に3~5cmぐらいの太めの薪5~6本をのせる。



## 火のつけ方:

下から付けて、火が大きくなったら、空気が流れるよう気をつける。

あとは、何回も経験すること!

# 荷物のつめ方

- ・重いものは上、軽いものは下に入れる。
- ・背負い方は、肩でなく、腰と背中であらうようにすれば楽になります。そのため、リュックサックが身体から離れた背負い方は疲れやすいです。
- ・両手はいつも、あけておきましょう。
- ・飯ごうや食器などの中には、お米や小さいものを入れて少しでも荷物の数を減らします。
- ・リュックの中に空間ができないように、きちんと詰めましょう。
- ・寝袋はリュックの中に入れるか、リュックの上に、ロープでしっかりと固定し、途中で忘れてしまわないためにも手で持たないようにします。



リュックの中に大きなビニール袋を入れてから荷物を入れると雨の時にぬれなくて、効果的です。

# もしもの時…応急手当

## <きりきず、すりきず>

きず口をきれいにあらう。  
血が出ているときは、きれいなガーゼで押さえる。  
サランラップで巻くのも効果的！

## <やけどした時>

水で冷やす。痛みがとれるまで、ひやし続ける。  
水ぶくれになっても、さわって、つぶさない。  
※キャベツの葉っぱは、すごいよ！  
やけどした部分に、キャベツの葉っぱを巻くと冷やしてくれる効果があります。

## <鼻血が出た時>

頭を少し前にしてかたむける。鼻のつけねを押さえる。  
または、横になって、顔を横に向けて、頭をできるだけ高くするのもよい。

応急処置をする前に、  
ケガをしたら、まず、大人を呼びましょう

# 雷（カミナリ）から身を守る

## 1. 雷の発生・接近を知る

- ①モクモクとした入道雲
- ②雷鳴



雷鳴の聞こえる範囲はおよそ**10km**。  
 かすかにでも雷鳴が聞こえている時には、  
 次の雷は自分の近くにおちる危険があるので避難すする  
 必要がある。

## 2. 雷にあった時の心得

- ①建物の中に避難する  
壁やテレビなどからはなるべく離れる
- ②樹木(小枝や葉も含めて)の4m以内に近づかない。  
**木のそばや、木の下は危険です**
- ③雨が降っても、**絶対に傘はささない**。  
20cmの高さの差が、生死を分ける場合もある
- ④ゴム長靴・ビニールレインコートを身に付けていても、  
少しも安全にならない。
- ⑤**金属類は、そのままを身につけておいても雷を引き寄せない**。  
身につけた金属類(ヘアピン、アクセサリ、金具付きの服、  
下着、カメラ、ラジオ、水筒など)に気を払うより、安全度の  
高い場所に一秒でも早く逃げるのが先。
- ⑥低い姿勢を取る時は、寝そべらず、両足の間隔を狭くして  
しゃがみ、指で両耳穴をふさぐ。  
足を広げておくと、落雷時に地面を流れる電流が体を流れ、  
負傷する。

# いろいろな合図

## <笛の合図>

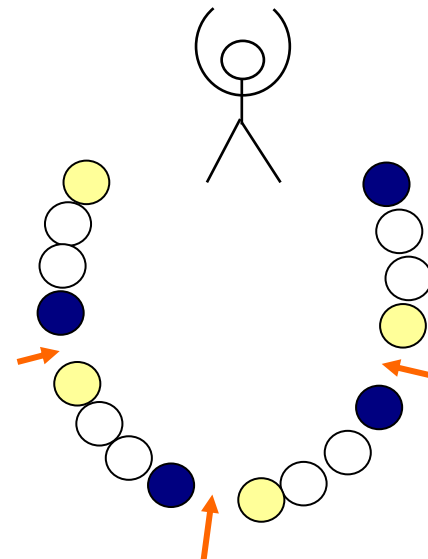
● : ピツ! と短くふく    — : ピーと長くふく

あつまれ	●	●	●	●	
パトロールリーダー あつまれ	●	●	●	—	
配給あり	●	●	—	●	●
きけん	●	—	●	—	

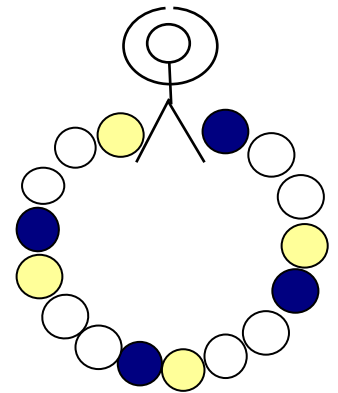
## <手の合図>

馬蹄形: 頭の上で馬蹄形を作る

円形: 頭の上で輪を作る



パトロールとパトロールの  
間を少し空ける



- パトロールリーダー
- 副パトロールリーダー
- パトロールメンバー

# BPのことば

「B-Pのことば」は、スカウト運動の創始者ロバート・ベーデン・ポウエル卿が生きて今も語りかけてくださるように、私たちは折々にその言葉を聞いては勇気づけられ、スカウトの道を歩む指針としています。

キャンプ生活は、ガールスカウトの「おきて」に従って生活し、「おきて」を実践するのに一番よい場所である。  
B-Pのことば

自分の好きな「B-Pのことば」を書いてみましょう。



テントの名称のこたえ

- ①親づな ②ソドクロス ③ウォール ④角づな ⑤グラウンドシート  
⑥テント本体 ⑦フライ ⑧ポール ⑨センターポール ⑩むね

団 名まえ

---